

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1790100117		
法人名	社会福祉法人 久楽会		
事業所名	グループホーム 古都の家【あさひ】		
所在地	石川県金沢市材木町6番18-2号		
自己評価作成日	令和1年12月10日	評価結果市町村受理日	令和2年2月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	(有)エイ・ワイ・エイ研究所
所在地	金沢市桂町口45-1
訪問調査日	令和1年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①本人の持つ力を大切に過剰介護とならないよう本人の力を見極め、利用者個々に必要な支援をおこなっている。
- ②入居期間が長くなることで慣れと親しみを勘違いすることがないように心掛けている。
- ③お互いが笑ってすごせるよう利用者どうしの関係を尊重している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは「基本的な人権の尊重」「安全・安心の実現」「満足の高いサービスの提供」を理念として、「私らしく、あなたらしく」「のんびり気ままに」をモットーとして掲げ、利用者一人ひとりの個性・持てる力・生活リズムを大切に支援に取り組んでいる。理念の実現の一環として、ホームではユマニチュードのケア・コミュニケーション技法を取り入れ、日々の支援に活かしている。日常生活場面では何気ない会話や1:1の場面での会話の中から、利用者個々の思い・要望(〇〇したい、〇〇に行きたい等)を把握し、介護計画にも反映しながら出来る限りの実現を図っている。医療面では馴染みのかかりつけ医への継続受診を基本とし、訪問診療も利用できる体制を整えている。家族の状況に応じてホーム側で受診の支援も行っており、各主治医と適切な情報交換・連携を図っている。地域とは散歩時の気軽な挨拶、近隣のスーパー・商店での買い物、住民ボランティアの受け入れ等を通じて交流を図っている。地域密着型サービスの考え方を踏まえ、入居者はホーム周辺地区の出身の方が多く現状となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~59で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
60	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	67	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
61	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,42)	68	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
62	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:42)	69	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
63	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:40,41)	70	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
64	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:53)	71	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
65	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
66	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		